

MBSE/MBD導入の勘どころ

対応するための組織とは？

ディスカッション追加説明資料

ふざけた内容含むので個人フォーマット

2019年9月5日

兼平靖夫

ykanexyz@gmail.com

昨年の反省

▶ 去年のディスカッション

- ▶ 「MBSE時代の開発手法（効率よく開発して働き方改革！）」と題して実施、若干、議論が発散、落としどころなく、開発者対ベンダーの構図に（涙）

▶ 今年はもう少しアジェンダ作り、成果物を定義します。

- ▶ MBSEでの技術と組織の位置づけがわかる – 30分ぐらい
- ▶ MBSE事例での組織改革を聞く – 15分ぐらい
- ▶ 組織対応をどうするかディスカッションする
 - ▶ 現状の組織の問題点（会社名伏せて記録）

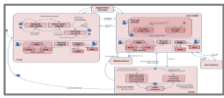
はやぶさプロジェクトでの評価法

▶ プロジェクトリーダー 川口淳一郎さん

- ▶ 50点—電気推進エンジン稼働開始(3基同時は世界初)
- ▶ 100点—電気推進エンジン1000時間稼働
- ▶ 150点—地球スイングバイ※成功(電気エンジンによるスイングバイは世界初)
- ▶ 200点—イトカワとランデブー成功
- ▶ 250点—イトカワの科学観測成功
- ▶ 275点—イトカワにタッチダウンしてサンプル採取成功
- ▶ 400点—カプセルが地球に帰還、大気圏に再突入して回収
- ▶ 500点—イトカワのサンプル入手

▶ 今回の議論

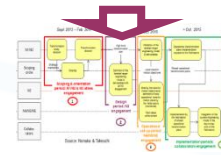
- ▶ 50点—とにかく参加する
- ▶ 100点—予定コンテンツの理解
 - ▶ MBSEでの技術と組織の位置づけがわかる
 - ▶ MBSE事例での組織改革を知る
- ▶ 150点—あるべき組織の討論
- ▶ 200点—理想の組織像にランデブー成功
- ▶ 250点— ……



3

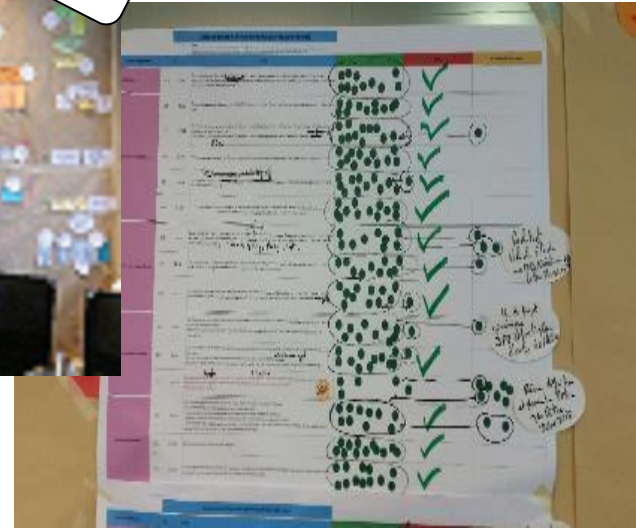
フェーズ 2 - ミドル・マネジメントの意識統一

2014年4月 - 10月: ビジョンの詳細化と共有 (2/2)



15,000人
650の開発チーム

事例PSAの組織
改革

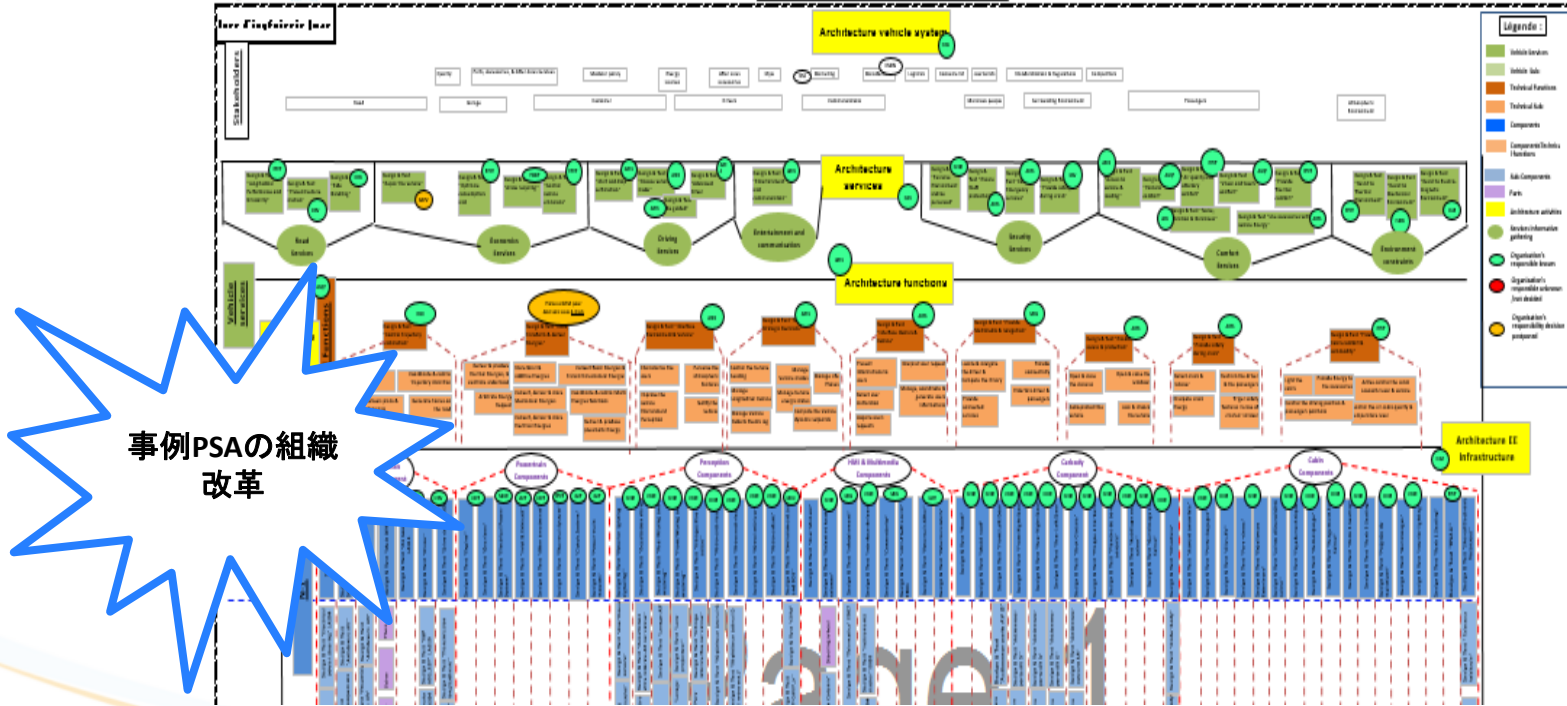
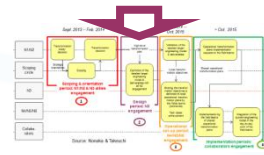


中間管理者とのグループ作業の例



3 フェーズ 2 – ミドル・マネジメントの意識統一

2014年4月 - 10月: 成果の例(1/2)



変革の現段階で目標とするエンジニアリング構成

人間とは会社(法人)とは

▶ 人間とは

- ▶ 広義にはヒト亜族(Hominina)に属する動物の総称であり、狭義には現生の(現在生きている)人類(学名 : Homo sapiens)を指す Wikipedia

▶ 会社(法人)

▶ 法の上での人 - 法人

- ▶ 人間ではないが、法律上人格を認められ、法律行為を有効にし、権利・義務の主体となりうる資格を与えられたもの

▶ 法人の成り立ちはさまざま

- ▶ 過去の技術の延長 - 瀬戸物を作っていたので、セラミックに強いとか INAX(現Lixil)
- ▶ 天才がいた - 電電公社への商売で安泰だったのに電子計算機
- ▶ 時流にのった - ひとりひとりが携帯を持つ時代なんて来ると思わなかった ドコモとか

人と法人の違い - 人

- ▶ 性別、人種は違ってもほぼ内臓は同じ
- ▶ DNAに至ってはほぼ同じ
 - ▶ 人間 vs 人間 99.9%
 - ▶ 人間 vs チンパンジー 96%
 - ▶ 人間 vs 猫 90%
 - ▶ 人間 vs バナナ 60%



大体、同じ薬は効く
手術も過去を参考にできる



人と法人の違い - 法人

- ▶ 会社は法の下での定義体として存在する
- ▶ 歴史的な経緯で部署（内臓）が異なる、同じ部署があっても大きさ、パワーが異なる
 - ▶ 部署がそもそもなかったりする
- ▶ 歴史的な経緯でケイパビリティが異なる



A社に効く処方箋は
B社に効くとは限らない
手術はアセスメント後



事業部制組織



機能別組織



下手すると部署が
なかったりする